

政策

子どもの貧困が社会問題となっています。少子化が進行しています。これは社会のあり方が問われている問題です。私は、児童相談所や福祉事務所勤務の経験をもとに、福祉・教育優先の「子どもに優しい社会」を目指します。

パパやママが、安定して働き、収入が得られ、生活できる労働環境づくり。

雇用の安定と拡大
保育所、幼稚園、学童保育の充実

地域医療を安定させ、いつでも、どこでも誰にでもよい医療を提供できる宮崎づくり。急病や、難しい病気にも県内で対応できる医療圏域内連携を構築

社会的養護環境の整備で、子どもの育ちを支えるセーフティネットづくり。

児童養護施設や里親、情緒障害児短期治療施設など、社会的に支える必要がある子どものために、もっと環境を整備

この子どもたちを戦場に送らない、他国の子どもたちも殺されることのない、平和な国づくり。

あの国が攻めて来るかもしれないという相互不信から戦争が始まります。近隣諸国との信頼関係を深め、二度と戦争で子どもの命を危険にさらすことがないよう、平和で、国民の意思が尊重される政治の実現に、日々、尽力します

子どもの豊かな学びと育ちをはぐくむ教育の実現。

必要な教員の確保(教職員定数の増)
少人数学級(30人以下学級)の実現
スクールカウンセラーの増員

障害のある人もない人もともに生きる宮崎づくり。

差別の禁止、合理的配慮の理念を普及させて、障害の有無にかかわらず、安心して過ごすことができる共生社会の実現

子育てを社会全体で支えあい、子育て技術を伝え合える社会を支援。

安心して子育てのできる社会基盤の整備
宮崎県産木材を利用した三世代同居住宅を推進

誰もが安心してくらす社会をつくります。

自然環境の保護、脱原発、男女平等社会、商工業の振興と「宮崎観光再生」、農林水産業の振興、文化・スポーツの振興、公共交通網の整備、高齢者が安心してくらす社会づくり

